

平成 28 年度 第 4 回三重県行財政改革推進本部本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）9:45～10:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 歳入確保ワーキング・グループ・歳出改革ワーキング・グループにおける 検討結果報告<中間とりまとめ>について

【山本財政課課長補佐兼班長】（資料 1 に基づき説明）

ワーキング・グループを設置以来、6 回検討してきたところであり、中間のとりまとめ状況を報告したい。危機的な財政状況にある中、短期的には平成 29 年度当初予算編成をいかに乗り切るか、中期的には、経常的な歳入の範囲内で歳出規模を収めなければならないと考えている。臨時歳入に頼らない財政運営に向けて、最終報告に向けて引き続き各テーマごとに検討を行い、意見をまとめていきたい。

【水島観光局長】

具体的な目標として、経常収支比率や実質公債費比率を平成 31 年度までに引き下げるとしているが、そのためには歳入・歳出がどのような状態にならないといけないのかがイメージしにくい。

【山本財政課課長補佐兼班長】

目標達成に向け、三重県としてどの程度の取組が必要となるのか、ワーキング・グループで議論のうえ、いずれかの時点でお示ししたい。

【嶋田総務部長】

数値目標は決算段階での目標数値となっているため、その目標数値を達成するためには予算の段階でどれくらいにしないかを考えていかないといけない。今は 100%を超えていると思うので、まずは現状値を分析する必要がある。

人件費、公債費などの経常的な支出をいかに抑制していくかということになると考えている。

【知事】

ワーキングメンバーには、本業がある中、精力的な議論をしてもらっており、感謝したい。

ワーキングの提案が、直ちに県の対策になるかはわからないが、しっかり受け止めたい。厳しい財政状況の中、若手の新鮮な目でもって、ホームランでなくともヒットを積み重ねれば良いので、考えられる限りの知恵を出してもらいたい。